

総 評

算数が特に難しく、社会と理科も難しかったため、全体の平均点も伸びませんでした。

入試本番まで残りわずかとなりましたが、ここからはあまり手を広げず、重要事項の定着をはかりましょう。

今回のようなテストにしろ、問題集にしろ、できなかったところや、知識があやふやなところは、そのままにせず、見直しや解き直しを行うことが大切です。ミスや間違いはチャンスと考え、実力をのばすきっかけにしてください。

第1回の試験でも書きましたが、入試では「満点をねらう」のではなく、「解ける問題を確実に得点する」ことがポイントです。志望校の出題傾向やレベルをつかみ、弱点の補強や重要事項の確認などの準備をしっかりと行って下さい。

国 語

やや易しい出題でした。

㊦は、問一(4)の得点率がとても低くなりました。日常生活ではあまり使われないような言葉が出題されることがあります。勉強のほか、本や新聞紙を読んだり、ニュースを見たりするなど、さまざまな表現に触れる機会をつくるのも効果的です。㊦は、比較的よくできていました。問題文をよく読み、指定語句や指定形式に注意しながら、解答をまとめる力が高まっています。㊦は、問四の得点率が低くなりました。書きぬきの問題でしたが、傍線部よりもあとの部分から書きぬいているものがありました。傍線部の次の段落からは話の流れが変わっているため、傍線部よりも前の部分に着目する必要がありました。文章の段落構成なども考えながら問題を解くことができれば、より高得点がのぞめます。

算 数

難しい出題でした。図形に関係した問いが特に難しく、得点率が低くなりました。

①の(4)のように複雑な計算は、工夫して易しい計算に直すことができないか考えましょう。②は、どの問題も単元の基本にもとづく内容です。できなかった問いは解説を読んで、もう一度チャレンジしてみましょう。

④の(2)は、求めたい値から逆算して、何がわかればよいのかを考えましょう。記述で解答する問題は、考え方がわかるようにポイントをしばって書きましょう。

⑤は、等しい長さの辺や大きさの等しい角を手がかりに、合同な図形を見つけられると考えやすくなります。

算数で重要なのは、問題の見方や考え方です。解けなかった問題を復習する際は、解説をよく確認し、「考え方」を理解するように心がけましょう。

社 会

難しい出題でした。

①は(1)の得点率が低くなりました。「南半球」からオーストラリアと書いた解答が多く見られました。②は(4)の得点率が低くなりました。気候については、地域ごとの特徴を確認しておきましょう。③は(4)の得点率が低くなりました。国の政治については、国会、内閣、裁判所がどのような仕事をしているのかまとめておきましょう。④は(8)がよくできていました。(2)は平安京や藤原京、(4)は摂政や征夷大將軍などとした誤答が目立ちました。⑤は(5)の得点率が非常に低く、大日本帝国憲法と書いた誤答が多く見られました。歴史分野の問題では、知識が定着していないと思われる解答が多く見られたので、まちがえた人は、政治を行った人物、行われた政策、文化などについてまとめておきましょう。

理 科

難しい出題でした。

①は、(3)が難しかったようです。全体に基本的な知識を問う内容でしたので、間違えたところはよく確認してください。②は、(2)～(4)が難しかったようです。中学入試ではここがよく出題されますので、しっかりと対策しましょう。③は、(5)が難しかったものの、他はできていました。文章を読み、しっかりと考察・計算できていたようです。④は、太陽・地球・月の位置関係の変化を実際に見ているイメージで考えるとよいですよ。(4)の計算問題はけた数が多いものの、正しく計算できた人が一定数いたようです。⑤は、(1)と(2)が図を読み取った上で思考力が必要となる問題で難しくなりました。⑥は(4)は難しい内容でしたが、他は基本的な内容が多くありました。もう一度確認しておきましょう。

総合(適性)

やや難しい出題でした。前半の大問に時間がかかったためか、④の得点がのびませんでした。最初に全体の分量を見きわめ、時間配分を考えながら取り組みましょう。

①の(3)は、「すべての学年が楽しめる」という課題に対する具体的な解決策が書かれているかどうかのポイントでした。②のあみだくじや④の魔方陣のような、手順を正しく理解して規則性を見つけ、試行錯誤しながら正答を導き出す問題は、中学入試ではよく出題される重要事項ですのでしっかり復習しましょう。③(2)は、札幌開成中でも出題される形式の文章記述問題です。指定されたすべての条件を満たし、だれにでも伝わるように表現する力を身につけましょう。文章記述問題では、書いた文章を必ず読み直し、誤字や文法的な誤りがないか確認する習慣をつけましょう。